

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成30年度】

(⑤その他の施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市森の都ならこの里		担当課名	生涯学習協働推進課	記入者職氏名	主事補 菅原雄太	
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市森の都ならこの里条例						
	(2)施設設置目的	健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与する。						
	(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内施設1棟、オートキャンプ場100台、バンガロー27棟、コテージ5棟、共同炊事場4ヶ所、コインシャワー8基、トイレ5ヶ所、林間広場9,880㎡、テニスコート2面、釣り堀1ヶ所、工作室1棟、研修棟1ヶ所、温泉館1棟、森林科学館1棟						
	(4)施設建設年度	研修棟S57 総合案内施設H6 温泉館H15						
	(5)耐震性能の有無	有り						
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	バンガロー更新・浄化槽更新・機械室配管改修		63,400千円(H30~H32)				
	(7)指定管理者名	株式会社森の都ならここ						
	(8)指定期間	平成29年 4月 1日 から 平成34年 3月31日 まで						
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり	<input type="checkbox"/> 設定なし	※設定ありの場合、(期間 平成 年度~平成 年度) (限度額 千円)				
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度						
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成30年度)					

区分		H28実績	H29実績	H30実績	H31当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-		※協定書に記載した要求水準値を記入してください。		
		(実績値)	147,798	146,795	141,834			
	内訳 (施設・設備ごと)	①キャンプ場		56,589	58,345	59,939		
		②温泉館		90,563	87,683	80,725		
		③活動拠点施設		646	767	1,170		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	①区画サイト (定員92人)	A平日昼間	8.9%	9.6%	14.0%	稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,004人÷234日=12.8人/日 12.8÷92=14.0%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	58.6%	69.3%	72.5%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 7,667人÷115日=66.7人/日 66.7÷92=72.5%
			D土日祝夜間					
		②フリーサイト (定員226人)	A平日昼間	8.5%	7.7%	14.5%	稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 7,689人÷234日=32.9人/日 32.9÷226=12.6%	
B平日夜間								
C土日祝昼間			57.1%	75.8%	69.2%	稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 17,997人÷115日=156.5人/日 156.5÷226=69.2%		
D土日祝夜間								
③コテージ (定員60人)		A平日昼間	25.6%	23.9%	27.6%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,832人÷234日=16.5人/日 16.5÷60=27.6%	
		B平日夜間						
		C土日祝昼間	70.4%	68.1%	69.5%	稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 4,801人÷115日=41.7人/日 41.7÷60=69.5%		
		D土日祝夜間						

2 利用状況	(施設・設備ごと)	④バンガロー (定員131人)	A平日昼間	12.9%	13.4%	14.5%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 4,444人÷234日＝18.9人/日 18.9÷131＝14.5%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	46.2%	52.1%	45.5%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 6,861人÷115日＝59.7人/日 59.7÷131＝45.5%
			D土日祝夜間					
		⑤温泉館 (定員80人)	A平日昼間	23.2%	20.4%	19.5%	35,722人÷208日＝179.8人/日(1回平均利用時間は1時間、 11時間で11回転として)、171.7÷11＝15.6人/日/回、 15.6÷80人＝19.5%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	44.9%	46.6%	44.9%		45,003人÷114日＝394.8人/日(1回平均利用時間は1時間、 11時間で11回転として)、394.8÷11＝35.9人/日/回、 35.9÷80人＝44.9%
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H28実績	H29実績	H30実績	H31当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		440	452	484			
	(3)運営日数		350	350	350	348	温泉館については336日	
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
②臨時職員		21.0	23.0	24.0	25.0			

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H28決算額	H29決算額	H30決算額	H31当初予算額	備考
	①人件費	42,492,205	43,284,405	44,134,128	45,650,000	
	②印刷費	1,243,063	1,829,045	2,642,318	1,300,000	
	③通信費	812,471	896,557	1,033,948	820,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	142,852	176,616	154,964	145,000	
	⑤借上料	1,443,940	1,770,250	1,707,959	1,440,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	6,289,215	6,206,390	5,680,610	6,480,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	12,592,565	12,131,325	13,351,797	27,122,600	
	計	65,016,311	66,294,588	68,705,724	82,957,600	
	対前年度増減率		2.0	3.6	20.7	
区分		H28決算額	H29決算額	H30決算額	H31当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	466,800	495,400	840,500	575,000	
		466,800	495,400	840,500	575,000	
②修繕費	10,526,202	7,878,734	6,473,407	10,000,000		
③光熱水費	11,299,692	12,388,137	12,408,260	12,000,000		
④燃料費						
⑤清掃費						
⑥保守点検費						
⑦その他(施設消耗品)			2,014,942	1,977,400		
計	22,292,694	20,762,271	21,737,109	24,552,400		
対前年度増減率		△ 6.9	4.7	13.0		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		87,309,005	87,056,859	90,442,833	107,510,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	74.5	76.2	76.0	77.2
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	76,195,132	75,698,277	75,829,807	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	117.2	114.2	110.4	

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 施設利用料金収入	76,195,132	75,698,277	75,829,807	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a - 総コスト)	△ 11,113,873	△ 11,358,582	△ 14,613,026	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 自主事業の収入	25,988,282	26,262,964	26,073,950	
b) 自主事業の支出	11,283,652	11,163,015	10,853,262	
収支差額 a) - b)	14,704,630	15,099,949	15,220,688	
c) その他事業の収入	2,266,882	68,933	110,150	
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	2,266,882	68,933	110,150	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	「健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与する」という設置目的を達成できていると考える。また、地域の交流拠点施設として、活用が図られている。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90	91	3	要求水準を満たしており、今後も継続して実施していく。
B サービス内容の満足度	90	86	2	昨年度とほぼ同様の結果となった。今後は要求水準を達成できるように、アンケートの結果を精査すること。
C 従業員対応の満足度	90	86	2	昨年度に比べ、低くなっているため、お客様の要望をアンケート結果から把握し、改善に努めること。
D 施設安全対策の満足度	90	86	2	昨年度とほぼ同様の結果となった。今後は要求水準を達成できるように、アンケートの結果を精査すること。
E 美観・清潔感の満足度	90	86	2	昨年度に比べ、低くなっているため、お客様の要望をアンケート結果から把握し、改善に努めること。
F 施設の利用者数	148000	141834	2	キャンプ場の利用者が増加したが、温泉の利用者数が減少し、前年より減少となった。今後はキャンプ場だけでなく温泉の広告宣伝を積極的に行う。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	2	キャンプ場施設は利用者が増加し、過去最高の利用者数となり、黒字である。温泉施設は前年より入湯者数が減少し、赤字の状態である。温泉館をもっとPRし、温泉館の新規顧客の獲得につなげていく。
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	危機管理マニュアルについては、職員会議で決定したルールに沿って運営しており、マニュアルの整備はされていないが、職員以外の者でも理解できるように、マニュアルを作成し周知徹底を図る。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

26

／33

V その他自由意見

--